

令和元年 12月8日(日)

午後2時～5時(受付:午後1時半より)

第12回

大手前国民會館 武藤記念ホール

電話(06)6941-2433

参加費 1,000円

(学生無料)

大東亞戦争顕彰講演会

「空の神兵」顕彰会 会長

講師 奥本康大氏
こう だい



昭和25年生、68歳。昭和17年インドネシア・スマトラ島パレンバン奇襲作戦にて殊勲甲の手柄をあげ、天皇に単独拝謁を賜った奥本實中尉の長男。出光興産退職後は、保護司、調停委員として社会貢献活動に取り組む一方、正しい戦争の歴史を伝えるべく講演、勉強会等を定期開催。史実を世界に発信する会委員、新しい歴史教科書をつくる会千葉支部幹事。著書に「なぜ大東亞戦争は起きたのか?空の神兵と呼ばれた男たち」「大東亞戦争、失われた真実」(いずれも共著)がある。

演題 「大東亞戦争は聖戦だった」

日清・日露戦争の勝利、パリ講和会議における日本の「人種差別撤廃」提言等を端緒に、要は白人主義で日本を仮想敵国と位置づける一方、低迷するアメリカの経済復興のため、日本潰しを目論んだルーズベルトが仕掛けた罠…それが先の大戦の実相である。

欧米列強は日本に戦争を仕掛けるため、ABCD包囲網による経済制裁と禁輸で追いつめた。「座して死を待つ」ことを拒んだ日本は、自存自衛とアジア解放のために立ち上がる。これを「大東亞戦争」と呼んで、我々の先人は戦ったのだ。

戦後アメリカはじめ連合国はこれを「太平洋戦争」と呼ばせて「日本は侵略戦争、植民地支配をした悪い国だ」と日本人を洗脳したが、それは全くの嘘である。

日本人は正史を知ることによって「自信」と「誇り」を取り戻し、国家を再興させるべきである。さもなくば、先の大戦を勇猛果敢に戦い、散華された英霊や将兵に申し訳が立たない。

協賛団体・有志名一覧 (五十音順)

奥川静治
(株)東マネージメント 東 健三
(株)経営センター 濱野晃吉
(株)ヒラク 加藤 拓
関西防衛を支える会 高橋忠義
公益社団法人 国民會館
柴 育男
(株)修英 中 一皓
(宗)念法真教
(宗)霊友会第八支部教会

神州正気の会 岡島茂雄
新聞アイデンティティ 葛目浩一
大河の會 宮脇昌三
21世紀日本アジア協会 岡本幸治
日本唱歌を歌う日の丸行進 石黒大圓
西村眞悟事務所
弁護士 松本藤一
MY日本
大和心のつどひ 吉村伊平
吉崎龍平

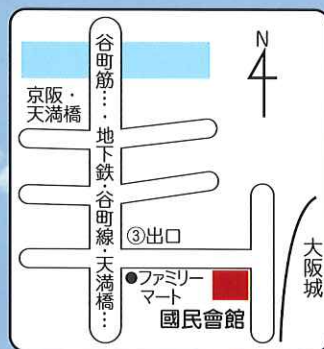
主催 大東亞戦争顕彰関西実行委員会

実行委員長 岡本幸治 大阪国際大学名誉教授

事務局 吉村伊平 (携帯 090-6820-5028)

御協賛受付中/郵便振替 00910-8-331810

名義:大東亞戦争顕彰関西実行委員会



▲国民會館アクセス
地下鉄谷町線・天満橋駅
③出口より徒歩3分
京阪天満橋駅より徒歩5分

大東亞 大みいくさは 萬世の

歴史を照らす 鏡なりけり

元関東軍作戦参謀 陸軍大佐 草地貞吾